日東通信

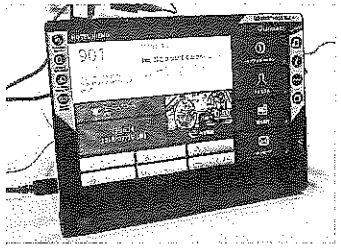
ホテル業務を省人化

6言語対応のタブレットで 空調操作なども

外国人旅行客の増加を背景に、道内では札幌を中心にホテル開発が盛況だ。日東通信（本社・仙台）は、ホテル・旅館向けの多言語インフォメーションシステム「Intelligent Tablet（インテリジェント・タブレット）」を提案している。言語対応スタッフが不在でも、多言語で宿泊者に案内可能。コインランドリーの稼働状況やレストラン・大浴場の混雑状況が分かるなど、外国人宿泊者への快適なサービスの提供と、ホテル業務の省人化を実現する。

システムは日本語を含む6言語に対応した客室用とスタッフ用のタブレットで構成する。「主力の通信環境技術で培ったノウハウを生かし、さまざまな設備とつながられるのが強み」と話す高橋進太郎社長。IoTとの連動で他社との差別化を図った。

客室用はエアコンや照明、テレビなどのルーム多言語で表示し、1台で室内操作できる



コントロールと連動。初見で分からないスイッチの位置や空調操作もタブレット1台で完結する。

ランドリーに足を運ばずに稼働状況を把握でき、レストランや大浴場では通過人数をカウントするセンサーで混雑状況を通知する。宿泊者と状況を共有することで混雑回避につなげる。

高橋社長は、インバウンドの増加でホテル・旅館業が抱える課題としてサービス力向上と省人化の2点を強調。

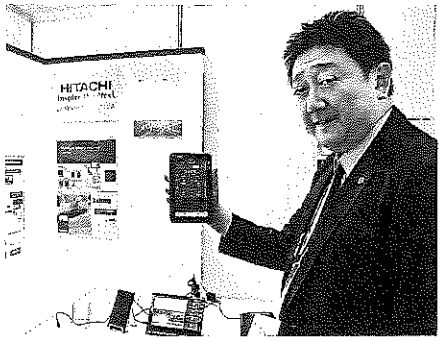
「例えば、各室のリモコンが無くなることで、年末年始などの繁忙期も電池交換の手間といった細かなところを省人化できる。スタッフ側から空調操作できれば、気温に合わせてチェックイン前に室温を調整するなど、きめ細やかなサービスもできる」と利点を挙げる。

館内インフォメーションや交通・観光情報などが充実しフロントへのオーダーメッセージも容易だ。清掃や送迎など希望するサービスがあれば、多言語に変換してやりとりできる。多言語変換は、固い表現の自動翻訳ではなく、プロによる翻訳文を使うなど、おもてなしへのこだわりも取り入れた。

タブレットの館外への持ち出し防止には、出入り口の限られるホテルや旅館の構造を利用。フロントやエレベーターなど館内に設けた無線LANアクセスポイントに近づくと自動でSSID（アクセスポイントの識別）を拾い、大容量の警告音を鳴らす仕組みだ。

スタッフ用タブレットでは、ホテルシステムと連動してチェックイン・アウトを確認したり、在室状況から迅速に清掃依頼ができる。

2017年に発売開始し、都内を中心に150室へ導入済み。システムはクラウドを通じて提供するため、タブレットさえあれば月額費用だけの低コストで導入できる。今後は、ホテルごとの要望に合わせた、さらなる連動サービスを追求し、増加するインバウンド需要に応える。



タブレットで照明を操作する高橋社長

女性用作業靴発売へ

スポーティーでカジュアルな意匠

アシックス

アシックスジャパンは、建設現場や運輸業など専門性が高い作業に従事する女性向けの作業用靴「レディ ウィンジョブ CP207」を9日に発売する。現場で働く女性の意見を取り入れて作製した。

足幅をやや細めにしてフィット性を高めたほか、スポーティーでカジュアルなデザインとした。爪先部分には、軽量のガラス繊維強化樹脂製の先芯を搭載。落下物などから足を守る。

靴底には、油分を含んでも劣化や形状変化が発生しにくい、耐油性と耐摩耗性に優れた独自開発の「CPグリップソール」を採用。接地面積を増やして地面を「面」で捉える細かい意匠を施し、滑りにくく安定した状態で作業ができるようにした。

カラーは全4色で、ウイズは2Eで、サイズは0・5ぢ刻みで21・5から25・5ぢまでを用意する。希望小売価格は、8600円（税抜き）。アシックスオンラインストア、作業用品取扱店などで順次販売する。

現場で働く女性の意見を取り入れた

道生コン工組

道内出荷1.6%減、77万㎥

4―6月 道南が新幹線で増加

北海道生コンクリート工業組合のまとめによると、2018年度第1四半期（4―6月）の道内生コン出荷実績は、前年度同期比1・6%減の77万8225立方㍍となった。増加したのは15地域。北海道新幹線のトンネル工事が進む道南での動きが顕著だった。札幌は23万4130立方㍍で最も多く、全体の3割を占めた。

官公需は3・8%減の24万4543立方㍍、民需は0・6%減の52万6285立方㍍。道生コン工組は「5―6%下回る予想だったが、現時点では前年度並みになりそう。各地域で引き続き人手不足と着工遅れが見られる。これがどれだけ影響するか」とみている。

道新幹線トンネル工事は、函館で継続3―4件、小樽で新規2件など。北渡島は継続2件のほか3―4件を新規着工予定で、トンネル関連だけで18年度は4万7000立方㍍を出荷する計画だ。

官民合わせて最多の札幌は、13・2%減。札幌生コンクリート協同組合によると、契約残があるほか、大規模マンションとホテル新築を複数控えている。

旭川では、官需が前年度並みの一方、民需が33・4%減となり、全体で27・6%減の2万3939立方㍍にとどまった。官需で、道発注の肢体不自由児総合療育センターの18年度打設分が延期になったものの、公共スポーツ施設・学校給食センターに約4600立方㍍、浄水場や道路・橋梁などを予定。出荷が動くのは8月以降とみている。

民需は分譲マンションなど約7000立方㍍、家畜施設4100立方㍍などを見込むが、前年度ほどの物件数は期待できない状況だ。

十勝は14・1%減の4万1567立方㍍。官需は16年の災害復旧関連、民需は農協関連需要がそれぞれ落ち着いたことで、年度末には前年度を2―3万立方㍍下回るとみている。帯広市内の再開発は、ホテルや商業施設などの大型案件が控えるが、資材価格の上昇や人手不足の影響で着工時期が後ずれする可能性がある。

2018年度第1四半期の道内生コン出荷実績

地域	総出荷数量(㎥) 官公需	民需	合計	前年度同期比
南北海道	16,202	7,213	23,415	69.9%
函館	14,584	22,484	37,068	88.8%
北渡島	12,642	10,589	23,231	149.5%
札幌	17,846	216,284	234,130	86.8%
小樽地区	13,925	25,738	39,663	142.9%
後志	14,065	20,239	34,304	192.2%
岩宇	1,185	772	1,957	31%
室蘭	2,106	10,301	12,407	108.3%
西胆振	7,328	813	8,141	2.4倍
苫小牧	7,453	19,371	26,824	105.6%
日高	10,625	2,097	12,722	64.8%
千歳地区	6,648	28,664	35,312	187%
道央	7,204	10,087	17,291	72.8%
空知	4,600	4,477	9,077	69.8%
釧路	9,919	27,352	37,271	132.7%
北根室	4,417	6,055	10,472	86%
北見地方	21,767	12,332	34,099	102.7%
紋別地方	4,329	8,176	12,505	76.8%
十勝地方	10,370	31,197	41,567	85.9%
南十勝	1,655	7,656	9,311	126.9%
西十勝	7,362	8,151	15,513	168.9%
北東十勝	2,466	10,776	13,242	57.5%

ミドリ安全

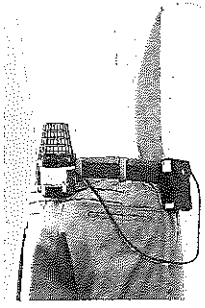
作業着を涼しく

空調ファンセット販売

ミドリ安全（本社・東京）は、空調ファンセット「ファンベルデ」を発売した。電動ファンを腰ベルトに付けるだけで、手持ちの作業着を電動ファン付きウエアとして利用することができる。

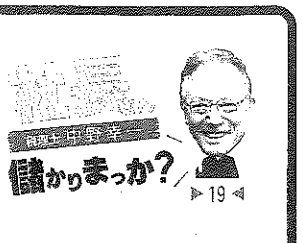
衣服が送風口をふさがないようスペーサーが付いていて、どんな姿勢でもしっかりと作業着内に外気を送り込むことができる。高耐久クリップで作業着の裾を左右両側から挟み込み、ファンと作業着を密着させて風漏れを防ぐ。

重量は450㌘で、作業への負担は少ない。背面だけでなく、フォークリフト作業時などに側面に取り付けることも可能だ。風量が弱の場合で約10時間作動する。



現場や天候、体調に応じて使用できる

勝者の法則とは



ビジネスの経営環境は激変しています。世の中がどう変化してきたのか、これからどう変化するのか、変化のスピードは非常に速くなっています。

過去100年の変化では、人類の夢だった鳥のように空を飛びたい、という願望を実現したのはライト兄弟でした。1903年、小型エンジンと小型飛行機を開発。わずか260㍍ですが、世界で初めて有人動力飛行に成功しました。

私の親の時代です。それからわずか115年、今や宇宙に人工衛星が無数に飛び交っています。

現在の変化では数ヶ月前、米国と北朝鮮は戦争前夜の様相でしたが一転、米朝首脳会談が実現。戦争を回避する方向へ世界情勢が激変。戦争から平和へ、世界の歴史が大きく動き始めました。

これから10年はどうなるのか？50年前はソロバンの時代でした。その後、コンピューターの時代を経て、今はクラウドからAI（人工知能）の時代に入り、ビジネス環境が激変しています。

人間社会の成長の源泉は壁の存在です。AIは、その壁を突き破る力を秘めています。第4次産業革命と言われています。

この産業革命は建設業に限らず、全ての業種にとって脅威なのでしょうか？適応力がなければ脅威ですが、強かな適応力とビジネスモデルの進化イノベーション力があれば、成長発展の好機かも知れません。

どんな経済環境の中にあっても、企業経営の勝者になるための原理原則があります。

豊かで幸せな人生を送るために、勝者の法則を実践に落とし込むために、経営者自身の人生企画と会社の経営計画の見直しをお薦めします。

変化恐れず〝挑戦〟を

1つ目は「既存の事業を成長・発展させる」戦略です。大半の企業が採っている戦略です。

2つ目は「新しいビジネスを起業する」戦略です。当初は問題児、成功確率は高くはない。失敗すれば負け犬に。リスクを取って挑戦。成功すれば問題児から花形に。さらに金のなる木になる可能性もあります。一本足経営から脱出し、事業の太い柱を増やすことができます。

どの戦略を選ぶか、2つの戦略の組み合わせか。経営者の自由ですが、変化を恐れず立ち向かい挑み続け、ビジネスの勝者になることを祈ります。

田舎幸雄